学校番号	218

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰ、美術Ⅱの授業で学んだことを発展させて、作品の制作と鑑賞を行います。その時、もちろん自分の作品を完成させることや、鑑賞した作品について感じる・考えることが目標になります。ただ、その活動の中から、生活の他の場面でも活きてくる新しい視点を見つけられればより良いと思っています。

新しい視点を見つけるというのは、例えば、何かを観察して描写する中で、普段見えなかったその物の特徴に気付いたり、ある作品がどういう意図でデザインされたか考えることで、身の回りの様々な製品についてもどうしてその色や形なのか考えるようになったり、といったことです。

そのように、授業から自分の中に新しいものを取り入れるためには、本気で活動に取り組むことが必要です。本気になるために一番手っ取り早いのはその活動を楽しむことです。なので、もし興味が持てなかったり苦手だったりすることであっても、「やってみたら案外楽しいかもしれない」と思って、楽しみを自分で見つけ出すつもりで授業に臨む方が自分にとってプラスになると思います。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美術文化に対する理解を深め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。そして、表現活動を通じて自己の主体性と独自性を確認することで自己を肯定し、様々な対象や経験から豊かな美的体験を得られる感性を育むことで自らを取り巻く他者と世界を肯定して、それらを合わせて人生を肯定的に捉えて生きていくための力とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な美術文化への理解を幅広く理解している。 創造的な表現をするために必要な技能を見につけ、表現している。	創造的な感性のもとに、想像力を働かせて主題を形成し、構想を練っている。 作品の良さや美しさを感受し、自らの意図に基づいて工夫しながら制作している。	美術文化に興味・関心を持ち、主体的に表現方法を工夫しつつ完成度を追及して表そうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	大冠祭（文化祭）ポスター	・本校文化祭の「大冠祭」のポスターをデザインする。 ・アクリルガッシュによる構成を中心に、ほかの画材や技法を工夫して魅力的なポスターを制作する。 ・完成作品のうち１点が実際に当年度文化祭の広報ポスターとして採用される。	a:絵と文字による構成、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かし創意工夫して表現する。 b:文化祭の楽しさや雰囲気を表し、目的や対象、イベント情報などを効果的に伝えるために、デザインの構想を練ったり鑑賞したりする。 c:目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 ワークシート アイデアスケッチ	観察 振り返り
2学期	興味のあることを描く	・絵には、様々な描き方があり、生活の中での楽しみ方も多様である。自分なりの描き方や描くことの楽しさなどについて考え表現する。 ・身近なものや風景の中から、形・色・描き方などに着目し、興味を持って改めて観察をして工夫して描く。	a:形や色彩などの効果、全体のイメージや作風などを捉え、表現方法を追及して創造的に表す。 b:対象への印象などを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:興味のあるものの特徴や美しさ、楽しさを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 振り返り
	情報の視覚化	・社会の中に多数ある数値による統計資料を整理し、形や色彩の効果などを生かして伝えたい内容を視覚化し、わかりやすく美しく表現する。	a:分かりやすさや美しさに着目し、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を追及して創造的に表す。 b:伝えたいデータの内容と、分かりやすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:伝えたい情報やグラフ、イラストなどを用いて効果的に表す学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 ワークシート アイデアスケッチ	観察 振り返り

3学期	自分らしさを伝えるポートフォリオ	・これまで制作してきた自分の美術の作品や活動をまとめ、ポートフォリオ(作品集)をつくる。 ・編集を通してそれまでの制作を振り返り、自分自身を見つめなおすきっかけにする。 ・出来た作品を他の人にも見てもらい意見感想を交換する。	a:これまでの作品を通して自分らしさを伝えるために、形や色彩の効果、全体の流れやイメージなどを捉え、表現方法を追及して創造的に表す。 b: コンセプトや伝えたい内容と、分かりやすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:これまでの活動と自分らしさを伝えるポートフォリオを制作する学習活動に主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 交流用紙 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度